

リデュース・リユースをキーワードに活動を展開する

地域環境デザイン研究所ecotoneの取り組み









NPO地域環境デザイン研究所ecotoneとは

2001年より現在の大量生産・大量消費・大量廃棄システムの変革やライフスタイルの見直 しを図る仕組み/選択肢づくりなど、環境共生型まちづくりを進めるための調査/研究・実 践活動を展開しています。

リデュース・リユースの2Rの視点と その仕組みづくりが社会を変える

環境対策支援事業では、お祭やイベントを対象に、 リユース食器を活用した環境対策活動を展開しています。 また、水道直結型給水機を活用した給水スポット設置活動など 広がりある活動を行なってきました。



2. 課題解決に向けて



2Rの実現は簡単ではない?



Reduce Reuse Recycle 上の2つのRは、生産者や流通販売者の 理解・協力がなければ進まない

消費者の心がけでとどまってしまう



Recycleは、大量生産・大量消費型社会が そのままでも、推進することが出来る

本当にそれで良いの?







お祭りやイベントのごみは後回しに

ごみの組成を調べると

家庭ごみの組成割合と似ている

(使い捨てプラ容器の容積比率が高い)

4-1. リユース食器レンタル事業



リユース食器とは

<mark>使い捨て食器やカップによる</mark>ごみの排出を削減するため、

<mark>お祭りやイベントなどで洗</mark>って繰り返し何度も使えるリユース食器の利用を提案しています。

<mark>当団体では2004年からレ</mark>ンタル事業をスタートさせ、国内では最大規模を誇ります。

<u> 2019年度リユース食器導入</u>実績 - イベント数 455, 食器導入数 1,864,750枚・個

S角皿	M角皿	SIII	МШ	コラボカップ
				9
サイズ 16×8cm 深さ 3.5cm	サイズ 17×10cm 深さ 3.5cm	直径 18.7cm 深さ 2.8cm	直径 21.5cm 深さ 2.8cm	473ml
Mどんぶり	Lどんぶり	小カップ	大カップ	マグカップ
9		©	○ PE-1/3P	63
550ml 直径 14.7cm 深さ 7cm	1100ml 直径 18.5cm 深さ 7cm	290ml	450ml	200ml

[○] 食器はすべてポリプロピレン製で、耐熱温度は130°C。電子レンジには対応していません。

[○] この食器のほかに、カトラリー(箸、スプーン、フォークもあります。)

[○] コラボカップのみステンレス製になります。

4-2. リユース食器レンタル事業



汚れたまま返却が可能!

リユース食器は洗う手間が問題に。そこで、当団体では汚れたまま返却いただき、

リユース食器専用の洗浄工房で綺麗に洗い上げます。リユース食器を導入する一部の大きなイベントでは、使い終わった食器の回収と資源の分別回収を行うエコステーションを設置し、ボランティアスタッフと共に活動する、環境対策のトータルコーディネートも行なっています。



祇園祭ごみゼロ大作戦(京都)



天神祭ごみゼロ大作戦(大阪)



ロハスフェスタ (大阪)



鍋まつり (京都)



京都大作戦(京都)



京都市成人式(京都)



京都府環境フェスティバル (京都)



長岡京ガラシャ祭(京都)



水道直結型仮設給水機を用いた給水スポットづくり

お祭りやイベント会場に給水スポットを設置することで、マイボトルの利用促進を図る取り組みを行なっています。給水機のレンタルも行なっています。 (オリジナルデザインを入れられます)











5-2. 給水スポット設置事業



導入実績(一部抜粋)



ロハスフェスタ万博(大阪)



天神祭ごみゼロ大作戦(大阪)



祇園祭ごみゼロ大作戦(京都)



東京2021クールスポット (江ノ島)



嵐山 昇龍苑 (京都)



かしはら芸術祭(柏原)



クリーンランドひろば (伊丹豊中)



やましなふれあい祭り(京都)

6. ボランティアコーディネーション



・ボランティアリーダーの養成

環境対策支援事業では、活動の中心を担うメンバーを毎年100名募集し、さまざまな研修を通して環境対策リーダーとして活躍しています。活動のプロセスで多様な人や組織が相互に対等な関係でつながり、新たな力を生み出し、地域や社会の課題解決に向けたスキルが身につくよう、ひとりひとりの個性に合わせエンパワメントしてきました。

・ボランティアコーディネート

お祭りやイベントでの活動は、短期/単発のボランティアスタッフニーズが高いことから、さまざまな形で受け入れを行い、共に活動してきています。年間約6000人のボランティアスタッフが活動に参加し、学びの機会などに繋がっています。















